

学校だより

たかしま

こ



高島っ子



令和6年12月9日

岡山市立高島小学校

www.city-okayama.ed.jp/~takashims/

学校教育目標：たくましい体と 豊かな人間性をもち 自ら学ぶ子どもの育成

2 学期しめくくりの 12 月

2学期もいよいよ12月を迎えました。地域・保護者の皆様には、学校行事、各学年の日々の学習や校外学習にたくさんのご協力をいただき、いつもありがとうございます。

こつこつと努力したり、仲間と協力しながらやり遂げたりする経験を通して成長したことを振り返り、子どもたちが達成感や自信をもつことができる締めくくりをしたいと思います。

11/1 学習・音楽発表会

今年度も1・3・5年生は各教室で学習発表会、2・4・6年生は体育館で学年合同の音楽発表会を行いました。発表の日に向けて、繰り返し粘り強く努力する姿や学級や学年の仲間と支え合う子どもたちの姿をたくさん見ることができました。それぞれのご家庭でも見守り励ましてくださったことと思います。当日は緊張もしたと思いますが、練習の成果を発揮しようと一生懸命頑張る姿はすばらしかったです。目標に向かって学級や学年のみんなで力を合わせて努力したことは、すべて自分の力になっています。高島っ子みんなに心から大きな拍手を贈ります。



1・3・5年生は各教室で学習発表会。グループに分かれての発表や全員での合奏など、アイデアいっぱいでした。発表に必要な道具を手作りで準備したり、タブレットを活用したりするなどの工夫もたくさん見られました。



2・4・6年生は体育館で音楽発表会。学年が心を合わせて一つになった合奏は、どの学年も迫力満点でした。合唱では、みんなの気持ちがこもっていて歌声が心に響いて伝わってきました。感動をありがとう。

「高島地域づくり隊」のみなさんが、高島っ子に長なわを贈ってくれました。

地域には、本校の卒業生も多数活動する中・高生のボランティアグループ「高島地域づくり隊」があります。夏休みに開催された「たかしまキッズ夏祭り」で「高島地域づくり隊」の隊員が担当し、子どもたちが喜ぶことを考えて企画・運営したゲームコーナーや屋台が大人気だったそうです。

そこで、夏祭りを開催した実行委員会から収益の一部を学区の小学校2校の子どもたちに還元したいと寄附のお申し出があり、本校は長なわを贈っていただきました。

11月20日の放課後全教職員が集まる時間に、10名を超える卒業生の隊員が代表として来校し、贈呈式を行いました。地域の人や子どもたちの笑顔のために主体的に活動する卒業生に、教員から感謝や励ましの気持ちを伝えることができました。また、隊員一人一人からボランティア活動に取り組む思いも聞くことができ、貴重な機会となりました。

翌日の校内放送で贈呈式の様子や贈られた長なわを紹介すると、さっそくたくさんの子

どもたちが休み時間に長なわで遊んでいます。

「高島地域づくり隊のみなさん、ありがとう。」

みんなでなかよく大切にしています。



11/19(火) 10:30~12:45 第2回学校運営協議会が開催されました。

校長から2学期の学校生活や学習の様子や取組について説明した後、実際に校内を見学していただき、子どもたちの学習の様子やICTを活用した授業の様子を参観していただきました。



また、中学校区の「めざす子ども像」(☆夢(目標)のある子 ☆自ら考え行動する子 ☆ふるさとを愛する子)の実現に向けた具体的な「行動指針」についてグループに分かれて熟議をし、以下のような意見やアイデアが出されました。今後も、めざす子ども像に向けた具体的な取組につなげていきたいと思います。

☆夢(目標)のある子

学校や地域の強みとして

- ・中高生ボランティア「高島地域づくり隊」が主体的に活動し、タカイルミやウォーターガンバトルなどの中高生が関わるイベントがある
- ・中学校、公民館との距離が近い
- ➡<身近な目標に触れる機会を増やす>
- ・中学生、高校生、大学生など、少し年上の人との交流を増やすことで、大きな夢でなくても「自分もこうなりたい」という憧れにつながるのではないかな。

☆ふるさとを愛する子

学校や地域の強みとして

- ・自然やおかざり作りなど、様々な資源がそろっている
- ➡<子どもたちが興味をもっていることを大人が支える>
- ・地域の強み(資源)を、子どもたちが興味をもっていることにつなげて活用するために、アンケートを実施するなど、子どもたちが何に興味があるのか把握する。
- ・アンケート実施に、一人一台端末を活用できるのではないかな。

☆自ら考え行動する子

学校や地域の強みとして

- ・近くに公民館がある
- ・高島かざりを授業で体験する、とんどまつりで焼くなど、つながる体験がある
- ➡<学校の教育活動と地域の資源や行事をつなげ、子どもたちが参画できるようにする>
- ・学校の教育活動やその中でのニーズと地域の資源をマッチングする
- ・まだ知られていない、認知されていない取組を可視化、PRして、子どもたちがどれに参加するか選べるようにする。